

令和7年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	84	学校名(課程)	南安曇農業高等学校(全日制)
------	----	---------	----------------

1 全体目標

○ 育てたい生徒像: 農業教育を通じて心身ともに健康で、思いやりの心を持ち、様々な課題に対して主体的かつ共同的に解決できる、新たな時代を創造する生徒

2 現状・課題

- ・自己理解の深化と自己受容が生徒個々によって程度に相違がみられること。
- ・農業高校の生徒として、勤労観、職業観、自立観を早期に確立すること。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。

学校で言い換えた力でもよい。

- 社会で自立していくための人を理解し思いやる気持ち。(人間形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力)
- 社会で自立していくための忍耐力や自己の果たす役割、前向きに考える力。(自己理解・自己管理能力)
- 社会で自立していくための臨機応変に問題を解決する力。(課題対応能力)
- 社会で自立していくための職業観や学ぶことの意義及び先を見た将来設計能力。(キャリアプランニング能力)

4 内容

指導項目	指導方針(対応する項目)
① 自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 授業・教育活動の成果が全てキャリア学習につながると意識させる。① イ 授業や実習を通して、学習することにより成果が上がることを実感させる。特に基礎学力の向上のため、家庭学習の定着を目指す。①②
② 仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	ウ HR 単位と学年単位の進路学習を通じて、各学年段階的に将来について考えさせるとともに、それぞれの進路を実現させることで3年間の専門高校での生活の集大成を図る。③④
③ 様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	エ HR活動、委員会活動、クラブ活動、農業クラブ活動を通じて多くの人達と関わることでコミュニケーション能力を養う。①②
④ 卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	オ 生徒が中心になり学校開放講座を企画・運営することにより、企画立案力、コミュニケーション能力、チームワーク、忍耐力を身に付ける。②④ カ 課題研究において、計画の立案・実施・研究要旨作成(まとめ)・プレゼンテーションを実施することにより課題対応能力を養う。②③④

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等(実施学年)
教科の授業	・普通教科の授業・実験・実習に真剣に取り組ませることにより、社会で必要となる考える力、基礎学力を養う。(1~3年) ・専門教科の知識技術を習得することにより、地域社会で活躍するための専門知識技術及び勤労観を養う。(1~3年)
総合的な探究の時間	・1~2年次の基礎的な専門知識技術を基に、3年次の課題研究でテーマを決め、計画を立案するとともに多くの課題を解決しながら研究に取り組む。また、研究の成果を卒業論文発表会で発表し、外部の先生方に評価いただくことで、企画力や課題対応能力、実行力を養う。(1~3年)
特別活動	・農業経営者協会・農業士協会との三者交流会を通じて、勤労観や将来の職業観、最先端の専門知識技術の習得を図る。(1~3年) ・三者交流会を通じ、最先端の専門知識技術の習得や、勤労観、将来の職業観について学習する。(1~3年)
校外の体験活動(就業体験活動等)	・先進農家体験学習・企業研修・試験場研修のいずれかについて、夏休み・春休み等の3日間を利用し全員に研修させることにより、最先端の専門知識技術を習得させる。また、実際の仕事の体験を通し

	て、勤労観や将来の職業観を醸成する。(2年)
地域や産業界等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放講座を年間通して実施することで、専門知識・技術を地域に発信するとともに、自らの専門知識技術を高める。(全学科2～3年) ・連携協定を結んだ安曇野市の協力の下、将来地域社会に貢献できる人材となるため、地域農業・地域環境について学ぶ。(全学科1～3年) ・企業との連携機会を通じて、最先端の専門知識技術を習得するとともに、実際の労働を自ら体験する。(全学科2～3年)
評価	・学校評価生徒アンケート・授業評価アンケート・ポートフォリオの記載内容により、学習成果や課題を確認判断する。
中学校との連携 (指導の継続性)	・中学校体験学習、中学校訪問、公開授業等を通じて、本校の専門学習内容や指導体制、特に職業・進路に直結する学習であることや、勤労観・職業観が身につくことを中学生の段階から理解してもらう。
校内の推進体制	・企画委員会及び進路指導部が中心となり、進路行事を全職員の協力の下実施する。また学校説明会、企業説明会を必要に応じて斡旋及び実施する。
キャリア・パスポートの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・HR での進路学習や学年進路ガイダンスを通じて自分の将来を見据え、専門の学習領域や職業について調べる。 ・週1回、前週の自分を振り返り、次週に活かす活動の目標を考えて生活を向上させる。

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目 標	○テーマ「自分の将来と向き合う」	○テーマ「体験を通して将来を考える」	○テーマ「進路の実現と社会人としての準備」
主 な 取 組	<p>○自分の将来と向き合うきっかけとして、「コース選択」を変更できない重大な自分自身の決定の場として位置付ける。本校の学習内容と地域産業を関連づけ、地域社会から必要とされる人材となるためにはどうすればよいかを考えさせる機会を設け、勤労観・職業観を醸成する。さらに、入学して新たな人間関係を構築する能力を育成することで、社会人となった際に円滑な人間関係を築くことにつなげる。</p> <p>「高校3年間の大切さ」進路講話 「進路先について知ろうⅠ」(業者ガイダンス)・地域に必要とされる人材・業界理解・大学、短大、専門学校の違い 「後悔しないコース選択を」2年次のコース選択について各科 ○各コース説明会コース講演会 ○学科別見学会</p>	<p>○コースの専門学習が始まり、各研究部の活動や夏休みに実施される校外研修において、地域社会での体験を通じた学習機会が増える。また、春休みには就職希望者対象の事業所見学会もある。</p> <p>この多くの体験を通して、高校卒業後の進路を具体的に考えるための機会を設けたい。</p> <p>「校外研修は学びのチャンス」: 校外研修について概要説明 「オープンキャンパスに行こう!」: 長期休業中のオープンキャンパス等への参加促進 「自分に必要な勉強は何?」: 3年次の選択科目について 「進路先について知ろうⅡ」(業者ガイダンス) ○分野別ガイダンス・就職対策講座</p>	<p>○自ら決めた進路を実現するために企業や進学先を現実的に選択するための方法や準備方法を知り、そして主体的に進路を選択し実現するための自主的努力を促すための機会として、以下の取組を実施する。</p> <p>また、社会人としての意識を向上させ、必要な知識を得る機会を設定したい。</p> <p>「目前に迫った進路決定にむけて」(業者ガイダンス) ○具体的な準備(学校選び、企業選び、試験対策、面接対策、今後の進め方等) ○卒業生による講話(教育実習生、4年制大学進学者や地元就職者による) 「社会に出るために必要なこと」: 3学年 ○自動車運転免許取得についての説明会 ○マナー講演会等</p>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査 ・学校評価生徒アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査 ・学校評価生徒アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査 ・学校評価生徒アンケート ・進路状況

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特別活動 等	その他 (面接・評価等)	
1 年	(記入例) ・共生社会と福祉(家庭) ・ともに生きる社会を 目指して(公民)	福祉社会における私たちの役割 を考える 特別養護老人ホーム訪問(交流)	特別養護老人ホーム訪問に向けて (講話及びホームルーム活動)		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 注意事項：カリキュラム・マネジメントの観点に立ち、教科、 総合的な学習の時間、特別活動等の相互の関係性 が分かるように矢印等で図示して下さい。 </div>				
	シラバス説明 通年 ・動物飼育管理(生物工学科) 4～6 ・健康と意思決定・行動選択(保健) ・体力作り(体育) ・漢字の学習・表現の習得(現代の国 語) ・全実験を通して、道具・器具・試薬等の 適切で安全な使用方法を学ぶとともに、問題・課題の解決の方法を学ぶ。 (化学基礎) ・自然災害と人々の生活(地理総合) ・専門学習への取組と農業関連産業 (農業と環境 全学科共通) ・森林整備を通じて環境保護を考える (総合実習) ・関連産業の基幹になる測量(測量) ・動物・微生物・植物の基礎知識技術の 習得(1年間)(畜産、微生物利用、植物 バイオテクノロジー) ・切り花の対面販売(総合実習)グリーン サイエンス科		4 進路希望調査 5 進路講話 6 卒業生と語る会	4 下旬 個人面談 7 下旬 三者懇談	
	夏休み ・測量実習・栽培管理実習・産業視察研 修 (総合実習)環境クリエイト科		8	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 三者交流会 (農業経 営者協会・農業士協 会・学校) レポート提出 </div>	
	9 ・美術史・音楽史を通じて芸術家達 の作品鑑賞とその背景や生き方につ いて考察する。(美術Ⅰ・音楽Ⅰ) ・対面販売・クリ拾い・リンゴもぎとり販 売実習(総合実習)グリーンサイエンス 科 10 ・ワープロ検定への取組(農業と情 報) 12 ・高齢者の生活(家庭基礎)		10	・コース説明会 ・進路講話 ・コース講演会 各コースの職業人による講演	12 下旬 三者懇談 生徒意識調査(県教委)
	1・集団スポーツ(体育) ・データの整理・命題と論証(数学Ⅰ) ・親としてともに育つ(家庭基礎) ・「アンジェラアキは、どのようにして夢 を実現したか(人生の考察)」(コミュニ ケーション英語Ⅰ) ・現代世界の諸課題(環境・エネルギー・人口・食料・都市・民族・領土問題) (地理総合) ・レポートの書き方(農業と環境) ・建設土木系・造園系・設計コンサル系 職業理解(総合実習)環境クリエイト科	1 下旬 卒業論文(課題研究)発表会への 参加			2 コース決定 2 学校評価生徒アンケート
春休み ・資格取得(総合実習) 環境クリエイト科					

2 年	<p>通年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作文の書き方(現代表現) ・全実験を通して、道具・器具・試薬等の適切で安全な使用方法を学ぶとともに、問題・課題の解決の方法を学ぶ。(物理基礎・生物基礎) ・対面販売・地域での寄せ植え教室(草花)グリーンサイエンス科 フラワーコース 4・漢字の学習・表現の習得(現代表現) ・「三角関数」「指数」(数学Ⅱ) 6・地域交流会の立案・運営(グリーンライフ)グリーンサイエンス科 フルーツコース 7 戦争の歴史と現在の課題(修学旅行の事前学習)※1人1研究を行い、レポートを提出させる。その成果を文化祭で発表する(歴史総合) 		<p>4 進路希望調査 全9コース「学校開放講座 年間28回」</p> <p>5 ・先進農家体験研修・企業研修 説明会 研修希望調査 ・進路ガイダンス</p> <p>6 卒業生と語る会</p> <p>7下旬 先進農家体験研修・企業研修・試験場研修(一部2月にもあり)</p>	<p>4下旬 個人面談</p> <p>7下旬 三者懇談</p>
	<p>夏休み 「税の作文」への取組(現代表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハート・オブ・オキナワ」を読み国際平和について考える。(コミュニケーション英語Ⅱ) ・校外研修(総合実習)グリーンサイエンス科・生物工学科 8・地域施設などでの実践活動 夏の花壇製作(生物活用) グリーンサイエンス科 フラワーコース ・土木関連企業・造園関連企業の体験研修(総合実習)環境クリエイト科 		<p>オープンキャンパス参加</p> <p>8月上旬 三者交流会(農業経営者協会・農業者協会・学校)レポート提出</p> <p>8月下旬 先進農家体験研修・企業研修・試験場研修レポート提出 冊子作成(CD)</p>	
	<p>9・対数(数学Ⅱ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果樹対面販売(総合実習)グリーンサイエンス科 フルーツコース ・グリーンツーリズム活動の企画(地域資源活用) グリーンサイエンス科 フルーツコース ・サツマイモの栽培実習、保育園児との交流(生物工学科 総合実習) ・企業連携による最新測量技術講習会(測量)環境クリエイト科 施工テクニカルコース ・鉢花の対面販売(草花)グリーンサイエンス科 フラワーコース ・専門学校連携による専門技術講習(造園計画)環境クリエイト科 環境デザインコース 10・車両系建設機械資格取得を目指した取組(農業機械) 環境クリエイト科 施工テクニカルコース 11・エクステリアプランナー2級の資格取得を目指した取組(造園計画)環境クリエイト科 環境デザインコース ・企業連携による型枠・鉄筋結束・コンクリート施工等の専門技術研修(農業土木施工)環境クリエイト科 施工テクニカルコース 		<p>10 ・進路講話 ・進路ガイダンス ・選択科目説明会</p> <p>12月上旬 修学旅行</p> <p>12月中旬 講演会(2年)</p>	<p>12月下旬 三者懇談</p>
	<p>1～3 集団スポーツ(体育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評論 報告(現代表現) ・地球環境問題(歴史総合) ・加工食品の改善・開発(食品製造)グリーンサイエンス科フードコース 2・健康的な職業生活(保健) 	<p>1下旬 卒業論文(課題研究)発表会の運営 課題研究のテーマ選定</p>	<p>1 企業勉強会</p>	<p>1生徒意識調査(県教委)</p> <p>1学校評価生徒アンケート</p>
	<p>春休み 車両系資格取得(農業機械)環境クリエイト科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ISO14001 講習会」(総合実習)環境クリエイト科 		<p>3 就職希望者対象 事業所見学会</p>	

3 年	<p>通年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の学習・表現の習得(論理国語) ・「全実験を通して、道具・器具・試薬等の適切で安全な使用方法を学ぶとともに、問題・課題の解決の方法を学ぶ。」(生物・化学) ・地域での寄せ植え教室・飾花のボランティア活動(総合実習)グリーンサイエンス科 フラワーコース ・堀金小学校・あづみ野分教室との交流(果樹)グリーンサイエンス科 フルーツコース <p>4～7 ・環境問題の学習(論理国語)</p> <p>4・農業の特徴(地域探究)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「確率」「速度・加速度」(数学A) ・家族の果たす役割について理解する(保育) <p>6 ・経済と金融財政政策(政治・経済)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造園技能検定 3 級取得のための実技と学科対策(造園施工管理・総合実習)環境クリエイト科 環境デザインコース ・建設機械関連・ISOの技能向上(総合実習)環境クリエイト科 ・2 級土木施工管理技術者試験に向けての学習(農業機械)環境クリエイト科 施工テクニカルコース 	<p>4～11 下旬</p> <p>課題研究テーマの選定 課題研究下調べ(企業連携による卒業資料収集 技術講習等) 課題研究計画の立案 課題研究の実施</p>	<p>4 進路希望調査</p> <p>6 進路ガイダンス</p> <p>6 卒業生と語る会</p>	<p>4 下旬 個人面談</p> <p>7 下旬 三者懇談 就職指導</p> <p>進学指導</p>
	夏休み	課題研究の実施	事業所見学・オープンキャンパス参加	
	<p>9・資本主義経済の誕生と国家システム(政治・経済)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「志願理由書」「自己PR」(論理国語) ・対面販売(総合実習)グリーンサイエンス科 ・2 級土木施工技術者試験に向けての学習(農業土木施工)環境クリエイト科 設計エンジニアコース <p>11～1 集団スポーツ(体育)</p> <p>12 鉢花の対面販売(草花)グリーンサイエンス科 フラワーコース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約と契約トラブル…消費社会を考える(食文化) 	<p>課題研究の実施</p> <p>12 初旬 卒業論文(課題研究)中間発表準備</p> <p>12 初旬 卒業論文(課題研究)中間発表会 課題研究の実施</p> <p>12 下旬 卒業論文(課題研究)発表要旨の作成</p>	<p>8 上旬</p> <p>三者交流会(農業経営者協会・農業士協会・学校) レポート提出</p> <p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車運転免許説明会 ・マナー講習会 	<p>生徒意識調査(県教委)</p> <p>12 下旬 三者懇談</p>
<p>1・LHR「社会人基礎講座」</p> <p>2・新社会人ワーキングセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着こなしマナー講座 ・青少年生活設計講座 	<p>1 卒業論文発表要旨の作成</p> <p>1 中旬 卒業論文発表プレゼンテーションの作成</p> <p>1 下旬 卒業論文科別発表会への参加</p> <p>2 初旬 卒業論文本書きの提出</p>	2 進路報告会	1 学校評価生徒アンケート	

※本校では課題研究発表会を卒業論文発表会としている。